

5 本時（4時間目）の学習指導

- (1) 目標 ・ 最高値やグラフ用紙の目盛りの数に着目して1目盛りの大きさを考え、見やすい棒グラフをかくことができる。  
 ・ 自分と友達の棒グラフを比べて話し合う中で、一番長い棒に着目して1目盛りの大きさを工夫することのよさに気づくことができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等			
1 学習課題をつかむ。	相	予 想 さ れ る 児 童 の 反 応	教 師 の 支 援 等			
2 1目盛りの大きさを考えて「好きなお菓子の値段」を棒グラフにかく。 (1) 自分で棒グラフをかく。  (2) ペアで見せ合う。  (3) 全体で交流する。	つ か む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目もりを書いていくと15までしかとれないな。</li> <li>・ この用紙だと、チロルチョコの他はかけないな。</li> <li>・ 1目もりが1だと、すごく長い用紙がないとかけないよ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">1目もりの大きさに気を付けて、見やすいぼうグラフをかこう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1番大きい数もかけるようにするには、目もりをいくらにするといいかな。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何十円や何百何十円があるから1目もりは10が良さそうだ。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1目もりを5にするとういと思うけど・・・はみ出さかな？</li> </ul> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1目もりを5にしてみると、紙が足りなくなっちゃったよ。</li> <li>・ 1目もりを10にすると、見やすいぼうグラフがかけたよ。</li> <li>・ 1目もり20でもかけるけど、違いがわかりにくいね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1番大きい数もかけるようにするには、目もりをいくらにするといいかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何十円や何百何十円があるから1目もりは10が良さそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1目もりを5にするとういと思うけど・・・はみ出さかな？</li> </ul>	<p>課題解決能力 見見通し 共感性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T1は全体指導，T2は机間指導を行う。</li> <li>・ 「前時までの学習を使って、自分でグラフをかいてみよう。」と呼びかけ、「好きなお菓子の値段」の表と目盛りの数が15のグラフ用紙を提示し、一人一人にも配布する。</li> <li>課 1目盛りが1ではグラフがかけないことから、1目盛りの大きさを変えることによって目盛りの数が15でもグラフがかけるのではないかという見通しを持たせ、本時の課題を設定する。</li> <li>見 香川型教材の3つの棒グラフを提示し、1目盛りの大きさを考えさせることにより、1目盛りが1以外の棒グラフの目盛りのとり方を知らせる。</li> <li>・ 棒グラフをかくときには、T1は1～4班，T2は5～8班の机間指導を行い、困っている子どもには、既習事項の掲示や棒グラフをかくときのポイントをまとめた前時の『作戦メモ』を見るように助言する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1番大きい数もかけるようにするには、目もりをいくらにするといいかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何十円や何百何十円があるから1目もりは10が良さそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1目もりを5にするとういと思うけど・・・はみ出さかな？</li> </ul>				
3 「好きな場所までの距離」を棒グラフにかく。 (1) ペア・班で目盛りの取り方を話し合う。 (2) 自分で棒グラフをかく。  (3) 全体で交流する。	つ く る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見やすいグラフは1番長いぼうが用紙ぴったりで上が空いてないね。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このグラフの目もりは、さっきのとは違うぞ。</li> <li>・ 1目もりをいくらにすると用紙にぴったりになるかな。</li> </ul> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1目もり10だと用紙からはみ出してしまうな。</li> <li>・ 数が1000を越えているから1目もりは50ぐらいかな・・・。</li> <li>・ 1目もり100にすると用紙にぴったりになりそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このグラフの目もりは、さっきのとは違うぞ。</li> <li>・ 1目もりをいくらにすると用紙にぴったりになるかな。</li> </ul>	<p>評 1目盛りを1以外に決め、グラフをかくことができたか。</p> <p>共 グラフをかくときに困ったことや発見したことを話し合うことを通して、見やすいグラフとはどんなものが考えられるようにする。</p> <p>共 ペア・班で考えを交流し、1目盛りの大きさを自分たちで見つけられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用紙を3種類用意し、自分が予想した1目盛りの大きさであったものを選択できるようにする。かいている途中での用紙の交換もよいこととする。</li> <li>・ T1は1目盛りの大きさが決められず困っている子どもをスペースに集め、支援する。T2は自力で解決しようとしている子どもたちを教室で支援する。</li> <li>評 友達と交流しながら、1目盛りの大きさを工夫して棒グラフをかくことができたか。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このグラフの目もりは、さっきのとは違うぞ。</li> <li>・ 1目もりをいくらにすると用紙にぴったりになるかな。</li> </ul>						
4 本時のまとめをする。	確 か め る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表の1番大きな数とグラフ用紙の目もりの数によって、1目もりの大きさを変えると、見やすいぼうグラフをかくことができるんだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">1目もりの大きさに気を付けて、自分の調べた をぼうグラフにしたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かけたグラフが見やすいグラフになっているか話し合わせ、見やすいグラフをかくポイントをまとめる。</li> <li>・ 『作戦メモ』に自分の言葉でポイントをまとめさせる。</li> <li>・ 1目盛りの大きさがいろいろな棒グラフを紹介し、1目盛り当てクイズを行うとともに、自分のかく棒グラフへの見通しと意欲をもたせる。</li> </ul>			
	ふ り か え る					